



## 検査情報月報8月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などを検査情報月報で解説しています。

### 新型コロナウイルスの全ゲノム解析（2022年1月～7月）

▶ 新型コロナウイルスのPCR検査体制については2021年9月号に掲載しています。2022年3月からは当所で、次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析を実施しています。

**主な結果** ▶ ウイルスが検出された検体のうち、次世代シーケンサーで解析可能であった150検体について全ゲノム解析を行った結果、150検体**全てがオミクロン株であり、BA.1, BA.2, BA.4, BA.5の4系統に分類**されました。

▶ 2月はBA.1系統が主に検出されていましたが、5月は全てBA.2系統でした。その後、**7月にはBA.5系統の検出割合が高**くなりました。BA.4系統は1検体のみで7月に検出されました。

### 農産物の残留農薬検査結果（令和4年4月～6月）

▶ 食品中に残留する農薬等が人の健康に害を及ぼさないよう、厚生労働省は残留基準を設定しています。当所では、市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

**主な結果** ▶ 4月に計9検体、5月に計30検体、6月に計14検体の検査を行い、4月～6月で総計53検体でした。

▶ トマト8検体、こまつな6検体、きゅうり3検体、うめ、かぶの根、だいこんの根、なす及びほうれんそう各1検体から延べ34項目の農薬が検出されました。**こまつな1検体からは、シメコナゾールが0.04ppm検出され、一律基準である0.01ppmを超過**していました。

### 簡易専用水道及び小規模受水槽水道の水質事故の検査結果（令和3年度）

▶ 令和3年度に検査した「簡易専用水道」の水質事故事例を2例報告します。

**主な結果** ▶ 事例1「共同住宅の受水槽内に長さ約10mmの黒い浮遊物が多数浮いている」との連絡。異物は**エチレンプロピレンゴム(EPDM)と推定**され、**連通管のパッキンからの流出**が疑われました。受水槽を経由しない「直結式給水」に変更されました。

▶ 事例2「共同住宅の蛇口から出る水道水が灰色に着色している」との相談。4階給水栓の色度及び濁度は水質基準を超過しており**水質異常を認めました**。黒色粒子状の異物は鉄を主成分とする無機物と推定され、**水中ポンプの封入液の流出**が疑われました。トイレ排水を除き使用を停止し、受水槽清掃、水中ポンプ交換、給水栓から捨て水が行われました。

### 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和4年7月）

▶ 当 WEB ページでは、感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事などの情報を提供しています。

**主な結果** ▶ アクセス順位1位は「**水痘・带状疱疹について**」、2位は「**手足口病について**」でした。